

医療法人専心会 西条市立周桑病院

雁木 淳一



の研修病院として研修医を送り出しております。残念ながら諸般の事情で岡山大学からの医師派遣は年々少なくなり、現在外科と泌尿器科以外は殆どが愛媛大学、脳外科が香川大学からの派遣となっております。

平成24年度の入院患者数は延べ29,675人、1日平均81.3人、外来患者数は延べ56,627人、1日平均231.13人、手術件数は197件で全麻件数はその内の66件でした。また上部消化管は1,593件、下部消化管は414件、CT 3,008件、MRI 1,390件でした。本年10月より日立製の開口部の広いMRIを四国で初めて導入し少しでも快適な検査環境を提供します。

新たな試み＝公設民営化

平成15年には36人の常勤医師がおり、心臓血管外科を除く全ての診療科の2～3次救急病院の役割を果たしてまいりました。しかしその後の新臨床研修医制度により大学病院の医師の引き上げの波をもろに被り年々常勤医師が減少してまいりました。特に精神科の常勤医師5人全員の引き上げは大きな痛手となりました。当然医業収入も減少の一方で赤字が膨らむばかりとなりました。そこで平成20年に市当局、大学、医師会、

はじめに

西条市は愛媛県の東予地域に位置し、背後に西日本最高峰の石鎚山を頂き、目の前には燧灘を擁する道前平野に位置しております。国の名水百選にも選ばれた「うちぬき」と呼ばれる自噴水やカブトガニなどが知られています。平成16年11月に旧西条市、東予市、小松町、丹原町が合併し人口約11.3万人の現在の西条市となっております。

当院の沿革

- 昭和12年 3月 保障責任医療利用組合連合会が発足し7月に周桑病院が開業
- 昭和26年 8月 周桑郡厚生農業協同組合連合会所属となる
- 昭和36年 6月 周桑郡の4町が周桑郡病院組合を設立、農業共同組合から病院を譲渡され新たに公立周桑病院として発足
- 平成15年 4月 電子カルテシステム稼働開始
- 平成16年 11月 市町村合併により西条市立周桑病院に変

更

- 平成20年 10月 西条市医療基本構想策定委員会が発足
- 平成21年 2月 委員会で周桑病院の公設民営化を決定
- 平成21年 12月 医療法人専心会を設立
- 平成22年 3月 公設民営の認可が下りる
- 平成22年 4月 公設民営で再スタート

現在の診療体制と実績

現在の診療科目は内科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科（休止中）、放射線科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科（休止中）および人間ドックで常勤医9人、非常勤医20人で診療にあたっております。平成15年より県下の公立病院で初めて電子カルテシステムを稼働させて現在にいたっております。また新臨床研修医制度の当初より管理型



住民代表をまじえた検討委員会を立ち上げ、最終的に公設民営化の路線に舵を切りました。その時点で院長であった小生が理事長となり西条市の協力も得て専心会という新たな医療法人を立ち上げました。当時はこの規模の公立病院で公設民営化されている病院は殆どなく不安一杯での

船出でありました。しかしながら地域の基幹病院を守るべく、また民間として頑張った人が報われる体制を築くべく職員全員が一丸となって始動いたしました。お陰さまでこの3年間は何とか赤字を出さずに経営を続けることができております。今後とも同門各位の皆様には御指導、御

鞭撻のほどを宜しく申し上げます。

平成25年9月受理
〒799-1341 愛媛県西条市壬生川131番地
電話：0898-64-2630 FAX：0898-65-5503
E-mail：inchou@shuso-hospital.jp
<http://www.shuso-hospital.jp/>